

基本目標3 「潤い・快適・活力」のにぎわいのまち

分野別政策9 地域経済活力や生活利便性を高める都市基盤づくりとマネジメント

施策 No. 30 上下水道の整備

10年後のめざす姿 災害に強い上下水道施設等の整備が進み、市民の安全・安心な暮らしが確保されています。また、生活排水が適切に処理され、かつ、下水道施設が適正に維持管理されることにより、市民の安全かつ快適で衛生的な生活環境が確保されています。

| 住みよさ指標 | 当初 | 単位 | 実績値の推移 | | | | | 目標値(H37) | 評価 | |
|-------------------|-------|----|--------|-------|-------|-----|-----|----------|--------|---|
| | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | | | |
| 1 「上下水道」に関する市民満足度 | 23.3 | % | 目標値 | 23.5 | 18.0 | | | 24.6 | 26.0 | ↘ |
| | | | 実績値 | 15.9 | | | | | | |
| 2 上下水道管路の耐震化率 | 22.7 | % | 目標値 | 24.7 | 25.7 | | | 28.7 | 36.2 | ↗ |
| | | | 実績値 | 24.1 | | | | | | |
| 3 下水道普及率(浄化槽を含む) | 91.1 | % | 目標値 | 92.0 | 93.3 | | | 93.6 | 96.6 | ○ |
| | | | 実績値 | 92.7 | | | | | | |
| 4 老朽下水道管路の改築更新延長 | 5,399 | m | 目標値 | 6,500 | 8,000 | | | 12,500 | 18,000 | ○ |
| | | | 実績値 | 7,613 | | | | | | |

| 総合評価 | 住みよさ指標の状況 |
|------|---|
| C | <p>上下水道については、管路の耐震化を推進し、目標値には到達しなかったが、耐震化率を上昇させた。今後は、中間値の達成に向けて基幹管路や老朽管を中心に管路の更新を行い、強靱な水道施設の構築を目指す。</p> <p>下水道については、公共下水道汚水管渠の整備や老朽化した管路の改築更新を行い、下水道普及率及び老朽下水道管路の改築更新延長の目標値に到達した。平成29年度についても、引き続き、管路の計画的な整備・改築更新を行い、目標値の到達を目指す。</p> |
| | <p>施策を構成する事業の状況</p> <p>配水施設等改良事業については、水道管路の耐震化を継続的に実施し、強靱な水道施設の構築に貢献している。公共下水道・浄化槽整備事業については、未整備地域の水洗化を促進し、生活環境の改善に大きく貢献しており、下水道長寿命化対策事業については、老朽化した下水道管路の計画的な改築更新を行い、適正な下水道施設の維持管理に貢献している。</p> <p>また、平成28年度より、持続可能な上下水道事業の経営を目指し、上下水道ビジョン及び上下水道事業経営戦略等の策定を進め、事業の運営方針を定めるとともに、事業の効率化に取り組む。</p> |

| | |
|-------------|--|
| これまでの取組み | <p>上下水道については、強靱な水道施設の構築を目指し、本市の最も重要な施設の一つである日野浄水場の排水処理施設の更新を実施したほか、災害発生時にも給水を継続するため、基幹水道施設につながる基幹管路を中心に、老朽管を更新するとともに、耐震化も併せて実施している。</p> <p>下水道については、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全のため、下水道未整備地域への公共下水道汚水管渠や市設置型浄化槽の整備に取り組み、水洗化を図っている。また、老朽管の長寿命化にも取り組み、貴望ヶ丘地区の汚水管渠の改築を行った。</p> |
| 課題(めざす姿との差) | <p>上下水道事業は、老朽化施設が増加して計画的な更新が必要である一方、人口減少等に伴う収入減少の課題を抱えており、厳しい経営環境に直面している。そのため、平成28年度から、今後の運営方針や財政計画を定める上下水道ビジョン等を策定し、さらに、水道事業では、平成42年度に予定している大阪広域水道企業団受水第二分岐の運用開始に向けた施設整備の基本計画を定める水道施設整備計画を変更する。それらの策定中に課題の抽出を行い、その解決策を示すとともに、上下水道事業経営懇談会を開催して広く意見を聴取するなど、経営健全化と施策の実現に向けた取り組みを進める。</p> |
| 今後の方向性 | <p>持続可能な上下水道事業の経営を目指し、平成30年度までに上下水道ビジョン等の各種計画を策定する。その策定の過程において、上下水道事業における課題を抽出し、その解決策を見出すことにより、進むべき方向性と優先的に実施する事業をあらい出す。</p> <p>なお、施設の老朽化は深刻な状況にあり、また、大規模な災害の発生に備える必要もあるため、施設の更新及び耐震化は早急に進めなければならない課題であるが、厳しい財政状況を考慮し、優先的に整備を進める施設の抽出や、劣化状況に応じて改築更新を行う方針への転換を進めていく。</p> |